

令和7年度 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る企画・調整担当者研修会開催レポート

開催日・会場：令和7年11月25日（火） 埼玉県浦和合同庁舎 庁舎棟5階講堂

一体的実施に係る企画・調整担当の医療専門職を対象とし、埼玉県保健医療部国保医療課・埼玉県国民健康保険団体連合会と共に開催したところ、49市町52名の職員が参加しました。

○午前の部：広域連合からの説明、国保連合会からの説明、東松山市からの事業実施状況報告、グループでの情報交換

前半は、広域連合から健康課題の分析・評価指標等について説明後、国保連合会からKDBシステムを活用した事業評価、一体的実施・実践支援ツールについて説明しました。また、東松山市の企画・調整担当者からハイリスクアプローチ（口腔）の取組について事業実施状況等をご報告いただきました。医療関係団体との連携や既存事業を活用した事業展開の方法は、取組を始めるための参考となったのではないでしょうか。

後半は、10グループに分かれて事業の実施状況や課題など、情報交換を行いました。日頃の業務における悩みや庁内外の連携や具体的な事業実施方法等について共有することができ、市町村間のつながりを深める機会にもなったことと思います。



グループでの情報交換

○午後の部：講義『一体的実施を効果的に実施するためのPDCAサイクルの展開～口腔の取組を進めるために～』、個人演習・グループワーク



文京学院大学 米澤純子教授

前半は、昨年度に引き続き文京学院大学の米澤純子教授を講師に迎え、高齢者保健事業の目的・目標の設定方法や口腔の取組におけるPDCAサイクルの視点等についてご講義いただきました。

後半は、米澤先生の講義をふまえて、口腔の取組についてPDCAサイクルに基づき、ワークシートに振り返りを行い、課題や解決策などをグループワークで話し合いました。

講師からのアドバイスやグループワークにより、口腔の取組における課題解決のためのヒントが得られたのではないでしょうか。

一体的実施は、地域の高齢者の介護予防・健康づくりのための制度です。広域連合では、市町村や県国保医療課、国保連合会とともに連携し、一体的実施を推進してまいります。

参加者の声（アンケートから抜粋（要約））

- ・健康課題の分析について、分析方法や資料の作り方等、今後の参考にしたい。
- ・KDBシステムの操作について分かりやすく説明していただき、自分でもできそうだと思えた。
- ・事例報告において、通知文や事業の課題、改善方法がとても参考になった。
- ・悩みを共有したり、具体的な事業内容等を情報交換でき、有益であった。
- ・対象者がどうなる姿を目指すのか、事業の目的・目標をしっかりと立て、評価をすすめていきたい。
- ・保健師として一人仕事になりがちだが、講話で背中を押してもらえ、また頑張りたいと思う。
- ・口腔の取組について具体的に情報交換することができ、取組開始に向けて参考にしたい。